



元気なコミュニティ特選団体に 新たに認定された団体のご紹介

人口減少・少子高齢化に向き合い、地域力の強化に取り組む県内のモデルとなる団体で、年1回、岩手県が選定しています。



盛岡バスセンター3階
ジャズミュージアム
の様子

特定非営利活動法人 穂吉敏子ジャズミュージアム

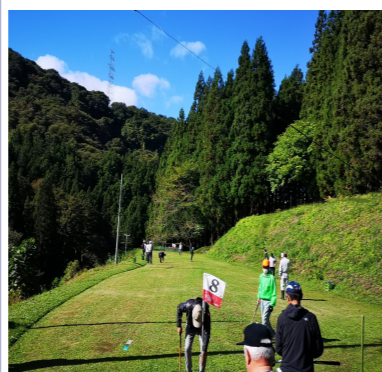
同法人は、盛岡バスセンター3階で、ミュージアムの展示や無料のジャズライブを行い、ジャズピアニスト穂吉敏子の作品・功績を発信するとともに、音楽を中心とする文化や芸術に関する事業を通し、文化的で豊かな地域づくりに寄与することを目的に活動している法人です。

盛岡バスセンターを利用する地域の方をはじめ、県内外、国内外の皆様の交流の場を担っています。

【乙部地区】 青空のもとグラウンド・ゴルフ 交流大会が開催されました！

乙部地域協働のまちづくり事業推進委員会（北田和栄会長）は、10月18日（水）、大ケ生金山萬寿坑コースを会場に、乙部地域グラウンド・ゴルフ交流大会を開催しました。

当日は約40名が参加し、晴天のもと、参加者は元気いっぱいプレーを楽しみました。同委員会は、平成25年に地域づくりのために「乙部地域まちづくり計画」を策定し、生涯スポーツ



活動、福祉・文化活動及び安心・安全活動の推進に取り組んでいます。同大会は生涯スポーツの活動推進事業の一環として開催されたものです。

回																	
覧																	



発行：盛岡市市民協働推進課

〒020-8530 盛岡市内丸12-2
TEL：019-626-7535（直通）

（令和5年12月発行）



市民協働推進センターを知らう！ 渋民公民館編



町内会・自治会、NPO法人等の地域活動や市民協働を支援するために設置している市民協働推進センター。今回は、渋民公民館を紹介いたします！

市民協働推進センターとは？

地域活動、NPO活動、市民活動に取り組む団体の支援のため、市内6館の公民館（中央・上田・西部・河南・都南・渋民）に設置している拠点です。

渋民公民館から一言！

渋民公民館では、玉山地域の文化や歴史について学ぶ講座など、多様な講座を行っています。また地域の困りごとについても、必要があれば担当課へつなぎ一緒に考えていきます。ぜひお気軽にお声がけください！



岩崎美也子

事業推進専門員兼主任社会教育指導員

イベント情報

公民館では、生活を楽しくする様々な講座を企画しています。

10月21日（土）には、「大人のクラフト教室 ミニほうき作り」を開催。玉山地域で育てたホウキモロコシでミニほうきを作りました。当日は、講師の苦労話などを交えながら、ミニほうき作りの手順を説明。6名の参加者はメモを取るなど熱心にほうき作りに取り組んでいました。完成した作品は玉山地域公民館まつりに展示され、来場者からも大好評でした。

今後も、渋民公民館では魅力的な講座を各種企画しています。お気軽にご参加ください。



各種講座案内はこちらから！



“世界につながるまち盛岡”市民会議 推進イベント開催

9月18日（月・祝）、プラザおでって（中ノ橋通一）で“世界につながるまち盛岡”市民会議（岩山徹 会長）による推進イベントが開催されました。

イベントテーマを「世界へ！未来へ！つながるMORIOKA」とし、ダニエル・カールさんの講演や、盛岡さんさ踊り清流（主宰 関口みどり氏）の演舞が披露されたほか、盛岡の魅力を発信する写真の展示等が行われました。

ダニエルさんは、日本や東北地方の魅力を踏まえ、「もっと盛岡自慢をしていきましょう」と語

り、ユーモア溢れるお話に、会場からは時折笑い声が上がっていました。来場者からは、「盛岡さんさ踊り清流の踊りが素晴らしかった」、「ダニエルさんのお話がユーモアたっぷり楽しかった」等の感想が聞かれました。

同会は、盛岡の魅力発信や市民活動の機運を高めるために活動しています。活動について、詳しくはホームページをご覧ください。



中津川ロードレース大会

11月3日（金）、山岸地域で「令和5年度第38回中津川ロードレース大会」が開催されました。主催は、山岸地区福祉推進会（豊村徹也会長）。

時期外れの暖かさとなった秋晴れの下、主会場となる山岸小学校でスタートの号砲が鳴りました。コロナ禍で4年ぶりの開催となった同大会には、山岸小学校（4、5、6年）、下小路中学校（1、2年）の児童生徒241人が出場。選手たちは、地域の人々の温かい声援を受けながら、それぞれのベストタイムを目指し、中津川沿いの3kmのコースを全力で駆け抜けました。



開催に当たっては、福祉推進会の役員のほか、PTA役員や民生児童委員、学校職員など総勢161人がスタッフとして運営を支え、また、地元企業等の協賛も大きな支えとなっています。競技中は、大きな声でランナーを激励したり、ゴール後に座り込んだ選手を拍手で称えるなど清々しい光景が見られ、ロードレースを通して、より一層交流を深めるとともに、地域が一丸となって協力し、大会を盛り上げていました。



盛岡市地域共生社会推進フォーラム

～支え合い、助け合い“つながる”まち・もりおか～



9月26日（火）、プラザおでって（中ノ橋通一）を会場に、盛岡市地域共生社会推進フォーラムが開催されました。主催は盛岡市、盛岡市社会福祉協議会。

この事業は、第2期盛岡市地域福祉計画の「共に支え合い、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現」に向け、住民参加の地域づくりの意識醸成を図ることを目的に、開催されたものです。

厚生労働省社会・援護局地域福祉課の米田隆史さんによる基調講演では、地域社会では「人口減による担い手不足」や「共同体機能の脆弱化」などの問題が生じていると分析。これからは地域住民や地域の多様な主体が、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく「地域共生社会」の実現が求められていると説明しました。その上で、いま「やっていること」、「できていること」を持ちより、広げたり、重ねたり、かけ合わせたりして、できることをみんなで考えていくことが重要であると話しました。

実践報告会では、みたけのまちのボランティアの三浦正平さんと、仙北地区社会教育福祉推進会の浅沼秀夫さんが地域での活動事例を発表しました。地域のボランティアや様々な団体が協力し、「つながる」地域づくり、持続可能な居場所づくりを目指す取組みを紹介。来場者は時折メモを取りながら、真剣に耳を傾けていました。

～地域イベントのご紹介～

令和5年度 東厨川地区防災訓練

令和5年10月1日（日）、厨川地区活動センター（前九年三丁目）を主会場として、令和5年度東厨川地区防災訓練が開催されました。主催は東厨川地区自主防災会（佐藤栄一会長）。

同会では、平成24年度に策定した地域づくり計画「歴史が薫る 桜とみどりのまち 東厨川」のテーマの1つ「安全・安心なまち」の取組として、防災訓練を毎年度実施しています。

コロナの影響により令和2年度から令和4年度までは規模を縮小しての開催が続いていましたが、今回、4年ぶりの通常開催となり、300人を超える地域住民の参加がありました。

本訓練では、東厨川地区に甚大な被害が発生したとの想定で、防災教室や避難所生活体験、新聞紙で食器づくり体験など合計9ブースが設定され、参加者はスタンプラリー形式で各ブースを回りました。

防災訓練の当日の様子をご紹介します。

防災教室コーナーでは、講師の市危機管理防災課職員から、洪水等の被害想定区域や避難場所等の説明を受け、いざというときの行動を確認しました。



避難所生活体験 段ボールベッドの組立て



避難所生活体験コーナーでは、避難時に使用するパーテーションや段ボールベッドの組立てを参加者が体験し、自らで組立てができるよう学びました。

ほかにも、親子で学べる防災かるたゲームや、盛岡西消防署職員による消火訓練や応急手当訓練などがあり、参加者は複数のブースを体験し、防災の意識を高めていました。



第2回

永井つどいのマルシェ



【いものこ汁・赤飯の販売の様子】

11月12日（日）、永井小学校体育館を会場に、3年ぶりに「永井つどいのマルシェ」が開催されました。主催は、永井地区まちづくりの会（兼平孝信会長）。当日は、地域の新鮮な農産物やいものこ汁・赤飯の販売、フリーマーケットの出店のほか、子ども縁日が開かれるなど、幅広い世代の来場があり、多くの人で賑わいました。

盛岡市の南部に位置する永井地区は、上永井・中永井・下永井の三自治会からなる、人口約8,300人の地区です。同事業は「令和5年度地方創生に向けて“がんばる地域”応援事業（一財）地域活性化センターが市町村振興宝くじ（サマージャンボ宝くじ）の収益金の交付を受けて行う事業」の助成金を受けて、実施されたものです。

同会アドバイザーの川村和寛氏は、「3年ぶり2回目となり、運営側も楽しみながら開催することができました。今後は恒例行事にできるよう検討していきます。」と話していました。

今回行われたマルシェのほかにも、地域の高齢者向けにLINEやFacebookの使い方講座の開催や地域誌の作成、団体ホームページの作成、伝統文化（永井伝統さんさ）の担い手育成などに取り組んでいます。活動の詳細は、同会Facebookをご覧ください。



←永井地区まちづくりの会Facebook

